

林野火災を防ぐポイント



- ・乾燥時や強風時はたき火・火入れをしない
- ・枯草などがある燃えやすい場所では火を使わない
- ・火気の使用中はその場から離れず、消火用の水を準備し、使用後は完全に消火する
- ・たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消し、投げ捨てない
- ・火遊びはしない。させない

令和8年1月1日より、林野火災の予防を目的とした「林野火災注意報・警報」の運用が開始されました。

詳細は、不破消防組合ホームページをご覧ください。



▲「林野火災注意報・警報」について



問 不破消防組合消防本部 ☎23-2030



消防署 だより Fire Station Information

林野火災を防ごう

例年、降水量が少なく空気が乾燥し、強風の吹く1月から5月ごろにかけて林野火災が発生する傾向にあります。次のことに注意して、林野火災を防ぎましょう。

出発前の準備は大丈夫ですか？



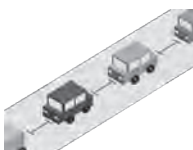
突然の降雪や凍結に備え、冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの携行と、万一来備えブースターケーブルや牽引ロープなどを準備しましょう。

「急」の付く操作は厳禁



急ハンドル、急ブレーキ、急加速など「急」の付く操作はスリップ事故の原因となりますので、慎重な運転操作をしましょう。

速度を落とし、十分な車間距離を取りましょう



車間距離を十分取って、心と時間にゆとりをもった走行に心がけましょう。坂道、カーブ、橋の上、トンネル、日陰部分は凍結していないか路面状態に十分目を配って走行しましょう。

問 垂井警察署 ☎22-0110



警察通信 Police Information

冬季におけるスリップ事故防止

冬季は、積雪や路面凍結によるスリップ事故が多発します。車両の冬季装備と凍結・スリップに備えた慎重な運転により、交通事故を起こさないよう気を付けましょう。